

第18回 日本在宅医学会大会



7月16日（土）、17日（日）に東京ビッグサイトで開催された第18回日本在宅医学会大会にスタッフ総勢21名で参加してきました。当院からは、石賀院長のランチョンセミナー、平山医師の一般演題（口演）、看護師・医療秘書からのポスター5題を発表してきました。

石賀院長のセミナーには約500名の方に参加いただき、会場も立ち見ができるほどの超満員でした。1日目の夜には、参加したクリニックスタッフみんなで食事会を開催しおいしい料理に舌鼓を打ちました。またスタッフ同士の懇親も深まりました。

朝から晩までの内容の濃い充実した二日間になりました。全国の在宅医療従事者のみなさんとの意見交換や交流もでき、多くの刺激を受けた実りの多い大会となりました。

この大会で学び得たものを、地域に戻りさっそく診療に活かしていきたいと思います。

社員旅行 in 台湾 ～賑やかな旅～



9月9日～9月12日の4日間、スタッフ総勢16名で台湾へ行ってきました！！日ごとの行いが良いという自称晴れ男・女のおかげもあり、連日楽しめる天候となりました。ホテルもとても綺麗で対応も素敵で、滞在期間を優雅に過ごすことができました。朝食バイキングも、とても品揃えが豊富でお腹も心も満たされました。

1日目、到着時間が夜遅かったので、次の日に備えて各自お部屋で就寝。

2日目、ツアーへ出発。ツアーはバスで約100キロ。内容は、【行天宮→お茶セミナー→総統府→中正記念堂→昼食「縣秦豊」→国立故宮博物院→忠烈祠→民芸品店・免税店→九份散策（夕飯）】です。ハードスケジュールを通して、スタッフの親睦を更に深めることができました。

3日目、自由行動。マッサージを受けたり、おいしいものを食べたり、ランタンを上げたり、ショッピングモールに行ったりと、各自それぞれ楽しみました。

4日目、帰宅の日。帰りたくない！！と思うほど、みんな楽しめました。ワイワイ・ガヤガヤした楽しい旅となり、素敵な思い出となりました。

看護師だより

〇さんは95歳。お会いしたのは4か月前です。娘さん家族と4人で暮らされていました。肺炎で約2か月入院されていました。それまでは食事もちんと食べることができていましたが、誤嚥しやすく食べることが難しくなりました。そのため病院からは胃瘻の話がでましたが、〇さんもご家族も希望されませんでした。食べることが無理だと言われていた〇さんは「何があっても白いごはんが食べたい」と強く希望され、ご家族も「無理だと言われても、1回は帰って白いご飯を食べさせてあげたい」と思いが一つとなり退院を決意されたのです。退院の第一目標は、「白いご飯を食べる」こと。それで命にかかわるようなことになったとしても覚悟の上で自宅に帰ることになりました。

退院して自宅に帰られた直後に〇さん宅を訪問しました。にこやかな表情をされていました。みんなが見守る中、念願の炊き立ての真っ白なごはんを口に運び、ゆっくりとゴクン。「おいしい」とてもうれしそうな表情をされたのです。その様子を見て「食べられてよかったね。帰ってきてよかったね。」とみんな大喜



びしました。「白いご飯を食べる」という目標をクリアされ、大好きな入浴もでき、デイサービスにも行くことができました。まさかこんなに元気になられるとは誰も想像できませんでした。退院されてから、「よかったね」があふれ、本当によかったです。

ご家族の支えもあり、〇さんは病気とうまく付きあってられました。ご冥福をお祈り致します。

ケアマネだより

今回はいつも福祉用具のレンタル等でお世話になっているビューティーマイトさんをご紹介します！

株式会社 ビューティーマイト



弊社は平成21年に福祉用具貸与・販売会社として菟野町に設立しました。菟野町・川越町・朝日町・四日市市・桑名市・木曾岬町・東員町・いなべ市・鈴鹿市に事業を実施しています。

現在、男性4名、女性3名が所属しており、うち4名が福祉用具専門相談員（平成28年9月現在）としてそれぞれのエリアを担当しています。

専門相談員は利用者様一人一人に寄り添い、利用者様の心身の状況、希望及び置かれている環境を踏まえて、適切な福祉用具の選定・設置・調整を行い支援させていただきます。また、福祉用具を利用することで利用者様の日常生活の向上を図る

だけでなく、介助者様の負担の軽減ができるよう支援させていただきます。利用者様一人一人により良いサービスの提供ができるよう全社員一丸となって務めさせていただきます。

住所：三重郡菟野町竹成 2622-13 電話：059-399-3100